

2023 年度

模擬国連会議全米大会

第 40 代日本代表団派遣事業

Japanese Delegation to
the National Model United
Nations Conference Project

応募要項

Application Guidelines

目次

1. はじめに	2
1.1 団長挨拶	2
1.2 選考プロセス担当挨拶	3
2. 応募資格	4
3. 選考プロセス	6
3.1 選考プロセス概要	6
3.2 選考日程	7
4. 応募	8
4.1 ステップ1：必要書類を準備する	8
① 参加申込書	8
② 志望理由書	9
4.2 ステップ2：必要書類を提出する	10
4.3 ステップ3：受理完了通知を受け取る	11
5. おわりに	12

1.はじめに

1.1 団長挨拶

皆さま、こんにちは。模擬国連会議全米大会第 40 代日本代表団派遣事業運営局（全米団）にて運営統括並びに団長を務めております、渡辺由璃子と申します。

まずは、この応募要項を手にとってくださいありがとうございます。少しでも全米団に興味を持っていただけていることを大変嬉しく思います。

第 40 代運営局のコンセプトは「Discover and Challenge」です。このコンセプトには、選考プロセスに挑戦してくださる方々に、自身で課題を見つけ全米団でしか体験できないコンテンツに挑戦してほしいという意味も込めています。この選考プロセスを通して、自分の強みや弱みを見つけ、どのようにその強みと弱みを活用するのかということを考え必死に取り組み、自分自身の成長の場として活かしてほしいです。

選考プロセスを通じて、9 名が第 40 代派遣団員として選出されます。そのため、誰もが皆簡単に乗り越えられるような課題は課されません。また、自分ひとりで悩み考えあぐねた末に導いた答えが正しいのかもわからないという選考特有の環境は過酷でもあります。しかし一方で、答えがなく一筋縄ではいかない問いに挑み続ける姿勢は、団員に選出された後も、そしてその後の将来においても求められ続けます。

仮に選考期間をどんな結末とともに終えようとも、目の前の課題にしがみつき、他のアプライ者から刺激を受けながら、必死に自分と向き合った 2 ヶ月間はこれからの人生において糧になるはずです。ここでの困難を乗り越えられた人には、きっとその後素晴らしい光景が待っていると思います。

選考プロセスには肩の力を抜いてありのままの自分で挑んでください。「日本代表団」への選考というハードルの高さを感じたり、「他のアプライ者はきっとすごい人たちだろう」と不安に思っていたりする人も少なくないと思います。おそらくこのような不安は誰もが抱えていると思います。何も心配せず諦めず果敢に挑んでください。自分を信じて、選考プロセスを全力で楽しんでください。皆様のご応募を心よりお待ちしております。

模擬国連会議全米大会第 40 代日本代表団派遣事業運営局
運営統括・団長 渡辺由璃子

1.2 選考プロセス担当挨拶

皆さま、こんにちは。模擬国連会議全米大会第 40 代日本代表団派遣事業運営局にて、選考プロセス担当を務めております片山菜穂です。この度は、弊事業に興味を持ち、応募要項を手にしていただき誠にありがとうございます。

今、応募要項を手にとってくださっている皆さんは、全米団と自分に何かしらの「繋がり」を感じ、アプライを考えてくださっているのではないのでしょうか。

これから待ち受けている選考プロセスは、決して容易なものではなく、時間と労力、そして根気が必要となります。皆さんの中には、「選考って何をやるのだろう」「自信ないけど大丈夫かな」と不安に思っている方も多くいらっしゃるかもしれません。そこで、選考プロセス担当から、少し皆さんに問いを投げかけさせていただきたいと思います。

あなたは、どのような環境で、どのような挑戦をし、
どのような成長を遂げたいですか？そして、それは何のためですか？

あなたが全米団に惹かれる理由は何ですか？
それは、あなたの中でどのくらい大事なものですか？

これらの答えが、あなたを全米団へのアプライへと、そしてその先の選考プロセスへと突き動かし、時に下から支えてくれる、揺るがぬ礎となることでしょう。

全米団での経験は非常に多岐にわたり、派遣団員期と運営局員期でも大きく異なります。1つ1つの活動は責任を伴い、時に圧倒されてしまうこともあるかもしれません。しかし、世界を舞台に、本気で取り組むことのできる環境がここにはあります。その環境をどう活かすか、その中でどのように考え、行動し、成長を追い求めるか、それはあなた次第です。

選考プロセスも、このような全米団入団後の環境と同様に、応募者の皆さんにとって「挑戦の場」となるよう設計されています。是非、自身と、目の前の課題に向き合い、貪欲に学び、皆さんらしく臨んでいただければと思います。どうか、あなたの中にある「想い」を大切にしてください。

勿論、全米団入団が全てでもなければ、ゴールでもありません。選考プロセスが、何らかの形で、皆さんの将来への一つのステップとなることを願い、結びとさせていただきます。

皆さんのアプライを心よりお待ちしております。

模擬国連会議全米大会第 40 代日本代表団派遣事業運営局
選考プロセス担当 片山菜穂

2. 応募資格

以下の 11 項目全てを満たす者。必ず次頁の注意事項もお読みください。

1. 以下の団体の会員であり、原則「大学 1 年生かつ新メン[1]」である者[2]。
該当団体：日本模擬国連に加盟する研究会または支部（国立研究会、駒場研究会、日吉研究会、四谷研究会、早稲田研究会、京都研究会、神戸研究会、九州支部、名古屋支部、北陸支部）
2. これまでに、当事業の選考プロセス・団員育成プログラム(DDP)・渡米プログラム、または当事業運営への参加経験がない者。
3. 2023 年 3 月中旬から 4 月上旬までの予定を確保し、渡米プログラム全ての日程に参加することが可能である者。
4. 上記の渡米プログラムへの参加にあたり、健康上の不安がない者。
5. 上記の渡米プログラムへの参加にあたり、渡米時にかかる経費[3]を理解し、負担できる者。
6. 団員として選出されてから大会までの準備期間、及び渡米期間のすべてのプログラムに参加することが可能であり、かつそれを全うする意思がある者。
7. 帰国後、翌年 6 月上旬まで続く年間を通した第 41 代日本代表団派遣事業の運営に携わることが可能であり、かつそれを全うする意思がある者。
8. 6.7 を達成するため、団員・局員期を含めた弊事業の活動・運営期間である、2022 年 11 月～2024 年 6 月までの間、原則日本国内に在ること。
9. 日本での各種模擬国連大会及び通常活動に積極的に参加し、今後の模擬国連活動全般に貢献する意思がある者。
10. **新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を 2 回完了している、又は渡米までに完了することのできる者[4]。**
11. **新型コロナウイルス感染症関連の諸問題に対応するために当事業運営局が下した判断[5]に従う者。**

応募資格に関する注意事項

[1] 新メンとは「大学模擬国連を始めて1年以内の者」を指します。

[2] 「原則1年生かつ新メン」との条件を設けた理由は、一般的な4年制大学に通う学生は3年次において就活等で忙しくなり、2年次以降に全米団に入団した場合、3年次における運営との両立が困難になることが予想されるためです。特別な事情がある者や、上記事項に該当しない者については、個別に対応いたしますので、必要書類提出前に必ずお問い合わせください。（全米団総務アドレス：ga_nmun@jmun.org）

[3] 毎年参加費は変動しますが、例年自己負担金15万～20万円前後で渡米します。（現地での食費や生活費は含まれていません。）また、例年団員選出後、年内に集金を行っています。学生にとっては大きい金額だと思しますので、ご家族などと事前に相談した上で申し込むことを強くお勧めします。もし、新型コロナウイルスの影響により、渡米プログラムを中止せざるを得ない場合や全米大会が中止になってしまった場合、お預かりした自己負担金は返金いたします。ただし、航空券などのキャンセル料がかかってしまう場合もございますので、ご了承ください。

[4] 現状、日本から米国へ入国するためには、ワクチン接種証明書の提出が義務付けられています。弊事業の目的と責任、そして情勢を鑑み、今後ワクチン接種証明書の提出義務が撤廃された場合を含め、ワクチン接種をしない者の渡米を認めておりません。したがって、ワクチン接種をする意思のない者は、ご応募いただくことができませんのでご注意ください。

[5] 日米両政府や全米大会側の判断によっては、全米大会へのオンライン参加を指示する場合や、大会参加自体への中止を指示する場合があります。

[4]・[5]における新型コロナウイルス感染症に関する措置について、ご質問やご相談等がございましたら、メールにて総務の田代(ga_nmun@jmun.org)までお問い合わせください。

3. 選考プロセス

3.1 選考プロセス概要¹

【応募書類】

- ・参加申込書（日本語）
- ・志望理由書（日本語）

【タスクA】

- ・面接（日本語/英語）

【タスクB】

- ・英語コンテンツ（英語）

【タスクC】

- ・論文課題（日本語）

【タスクD】

- ・D-1 ショートレポート（英語）
- ・D-2 対話型コンテンツ（日本語）

【タスクE】

- ・振り返り（日本語）

¹ 各タスクの詳細については、後日配布予定のタスク指示書をご覧ください。

3.2 選考日程²

日付	タスク等	備考
8月1日(月) 正午	応募開始	
8月28日(日) 23:59	応募締め切り	
9月1日(木) ～4日(日)	タスク A 実施	<u>オンラインで実施。</u> (日程等については、参加申込書を参照して下さい。)
9月7日(水) 正午	一次選考 ³ 通過者発表 &タスク指示書配布	
9月10日(土) 又は 9月11日(日) の午前中	タスク B 実施	<u>オンラインで実施。</u> (日程等については、参加申込書を参照して下さい。)
9月30日(金)	タスク C 締め切り	
10月4日(火)	タスク D-1 締め切り	
10月8日(土)・9日(日)	タスク D-2 実施 ⁴	<u>オンラインで実施。</u>
10月16日(日)	タスク E 締め切り	
10月31日(日)	団員発表	全米団 HP にて発表。

² 選考プロセスの日程等はやむを得ず変更する場合があります。また、より詳細な日程に関しては、後に配布予定のタスク指示書をご覧ください。

³ 応募者が一定数を上回った場合のみ、志望理由書とタスク A (面接) を基に一次選考を実施します。一次選考の可否は、応募者全員に E-mail で通知致します。

⁴ やむを得ない事情により当日のコンテンツに出席できなかった者に対しては、運営局が必要と判断した場合のみ、代替手段として論文課題を課します。

4. 応募

応募期間：8月1日（日） - 8月28日（日）
提出方法：E-mailによる提出
締め切り：8月28日（日）23時59分（日本標準時）

※遅延受理は一切認めません。
手続に間違い・遅れのないよう十分に注意して下さい。
尚、全ての課題及びタスクにおいて再提出は認められません。

4.1 ステップ1：必要書類を準備する

必要書類は、参加申込書・志望理由書の2点です。

① 参加申込書

全米団 HP (<https://nmun-jpn.jimdo.com/>) よりダウンロードし、全ての項目を漏れのないよう記入してください。記入上の注意点は、以下の通りです。

1. 黒のボールペンで、数字はアラビア数字で、文字はくずさず正確に記入してください。
2. 顔写真は、顔が分かれば証明写真でなくても構いませんが、過度に修正されたものはお控えください。
3. 参加申込書を、コンビニエンスストアや自宅のコピー機を使用して用紙をスキャンし、PDF化したものをE-mailに添付してください。ファイル名は「参加申込書_氏名(ローマ字表記)」としてください。(例：参加申込書_NahoKATAYAMA)

※ご記入いただいた個人情報、第40代全米団派遣事業運営局が適切に管理し、ご本人の同意なく選考プロセス業務以外の目的で利用することはありません。

※提出していただいた参加申込書は返却いたしません。

※原本の参加申込書は捨てずに手元に保管しておいてください。

②志望理由書

模擬国連会議全米大会日本代表団派遣事業規約

第一章：総則

第一条（名称）本団体は、模擬国連会議全米大会日本代表団派遣事業 (Japanese Delegation to the National Model United Nations Conference Project) と称し、団体の略称は、「全米団派遣事業」とする。（以下「当事業」とする。）

第二条（目的）当事業は、模擬国連会議全米大会日本代表団（以下「日本代表団」とする。）として国連における外交を体感する機会を享受すること、及びその機会で培った知識や経験を多くの人に伝えることによる、国際問題の社会的認知の促進、模擬国連活動の発展、及び国際社会において活躍する人材の育成を目的とする。（以下略）

模擬国連会議全米大会第 40 代日本代表団団員（以下、団員）に選出されると、団員育成プログラム(DDP)を含む渡米準備、全米大会参加、並びに第 41 代運営局にて運営業務を行うこととなります。以上の目的や活動を踏まえて、全米団入団を志望する理由を日本語でお書きください。（800 字程度）

志望理由書作成上の注意点は以下の通りです。

1. 応募課題は Microsoft Word で、日本語は MS 明朝 10.5、英語・数字・記号は Times New Roman 10.5 で書いてください。
2. 1 行目に左揃えて「志望理由書」（「」は不要です）と記した上で、本文は 3 行目から書き始めてください。
3. 余白は 2.54 cm（1 インチ）以上取ってください。
4. 図や絵、写真を載せても評価の対象とはなりません。
5. 志望理由書を E-mail で提出する際は、ファイルの種類を Word 文書(.doc)もしくは Word 文書(.docx)とし、ファイル名は「志望理由書_氏名」としてください。
（例：志望理由書_NahoKATAYAMA）

4.2 ステップ 2：必要書類を提出する

必要書類は、E-mail で提出してください。提出方法が少々複雑ですので、時間に余裕を持ち、十分に注意して行ってください。E-mail に、提出する必要書類を添付し、nmun40.senkou@gmail.com と nmun40_senkou@yahoo.co.jp の 2 つのメールアドレスを宛先として併記し、書類を提出してください。件名は、「【全米団応募希望】氏名（日本語表記）」としてください。（例：【全米団応募希望】片山菜穂）

E-mail 提出が無事受領されますと、Gmail アドレス、Yahoo!メールアドレスのそれぞれから提出完了通知が自動返信されます。（不具合により、どちらか片方のメールアドレスからしか提出完了通知が届かない場合がありますが、その場合は、どちらかのメールアドレスから通知が届いていれば問題ありません。）

ステップ 2 に関する注意点は、以下の通りです。

1. 必要書類の提出は、2 種類のメールアドレス（Gmail アドレスと Yahoo!メールアドレス）のそれぞれから提出完了通知が自動返信された時点で完了となります。必ず 2 種類のメールアドレス両方に提出してください。
2. 参加申込書、志望理由書の 2 点を添付してください。
3. 参加申込書は、コンビニエンスストアや自宅のコピー機等を使用し、スキャンして PDF 化したものを E-mail に添付し、送付してください。
4. 提出の際は、一般的なマナーとして、メール本文を書いた上で送信してください。
5. 提出用アドレス (nmun40.senkou@gmail.com ・ nmun40_senkou@yahoo.co.jp) では必要書類のみ受け付けます。質問は総務アドレス (ga_nmun@jmun.org) にお送りください。
6. E-mail 提出の遅延受理及び再提出は認められません。提出締め切り時間間際は、サーバーダウンが発生する可能性があります。また、サーバーの不具合などにより送信受理に時間差が生じることもございます。提出は余裕を持って行ってください。

※ 2 種類のメールアドレスは、いずれか一方のメールのサーバーダウン及びその他のトラブルに備えて用意しています。

4.3 ステップ 3 : 受理完了通知を受け取る

ステップ 2 で提出していただいた書類の提出完了の通知の後、受理完了通知あるいは不受理通知を 8 月 29 日（月）までにお送り致します。受理完了通知をお送りした時点で E-mail 提出の受理が完了し、申し込み完了となります。

ステップ 2 での 2 種類の E-mail 提出後 24 時間以内にいずれかのアドレスからの返信が届かない場合、ステップ 3 で 8 月 29 日（月）23 時 59 分までに受理完了通知あるいは不受理通知が届かない場合、もしくは一次選考の可否の通知の E-mail が 9 月 7 日（水）正午に届かない場合は、総務の田代までご連絡ください。アプライに関してのご質問も下記総務アドレスにて承りますが、選考コンテンツの具体的な内容などに関する質問は受け付けることができませんのでご了承ください。

総務（田代葵）アドレス：ga_nmun@jmun.org

5. おわりに

当事業に関する情報は随時 HP や SNS で更新しており、8 月上旬頃、全米団に関する詳しい情報を掲載したガイドブックも公開される予定です。是非、全米大会(National Model United Nations)HP と併せてご覧ください。

模擬国連全米大会 HP : <http://www.nmun.org/>
全米団 HP : <https://nmun-jpn.jimdo.com/>
全米団 Facebook : <https://www.facebook.com/jpn.to.nmun>
全米団 Twitter : https://twitter.com/japanmun_nmun
全米団 Instagram : https://www.instagram.com/japanmun_nmun/?hl=ja
全米団 YouTube : https://www.youtube.com/channel/UCWs9f25geySDIq-IhRSaG_w

第 40 代運営局員一同、
皆さまのご応募お待ちしております！